

四国東南海・南海地震対策連絡調整会議 広域合同演習 実施状況

時：平成17年11月21日 13:30~17:00

於：香川県県民ホール

**災害図上訓練DIG
(Disaster Imagination Game)**

- 一言でいうならば.....
 - 「大きな地図をみんなで囲み、災害対策本部運営のシミュレーションをやってみようではないか」
 - 「畳2枚大の地図をみんなで囲み、一人千円会費、缶ビール1本おつまみ付きで、地域防災について熱く語ろうではないか」
- 三者の出会いの結晶
 - 三重県各地の災害救援ボランティアの熱意
 - 自治体(三重県)の防災担当職員の「演出者」としての感覚
 - 自衛隊のノウハウを知る防災研究者の知識
- 1997年三重県生まれ、全国育ち

■DIGとは

DIGを作った富士常葉大学の小村助教授よりDIGを使った演習手法の説明

東京ドーム、福岡駅、TOYOTA等でも実施されている手法であり、コストパフォーマンスに優れ、準備がほとんどいらない。

(小村氏)



富士常葉大学 小村助教授

■演習想定確認

プレ演習の内容確認及び追加情報

・高知県はどうか？等のプレ演習内容の確認を実施

県の人口の約2/3を擁する高知市周辺が大きなダメージを受ける。須崎、室戸等は孤立する。

→本日の演習は高知県を主体として実施

・高速道路はどう確認できる？

現地踏査及び明るい時間帯なら、ヘリ等による空からの概略確認による。

・NTT、docomoはどうか？

基地局は地震動には耐えられるが、停電になれば1日程度しかバッテリーが持たない。一般通信は規制がかかり、メールの方が通信しやすい。

・JRは？

全線運行停止し、安全確認が出来ないと運行しない。確認の為に交通手段が限られることとなり、時間がかかる。土砂災害等であれば数ヶ月復旧に必要。





・電力は？

基幹施設は大丈夫、家屋倒壊により電柱が引きずられる、津波による浸水等で停電する。復旧は1件1件対応する人海戦術で対応するしかない。復旧は車両必要。

■演習（検討項目の抽出）

・自衛隊空撮映像の共有を

自衛隊の空撮映像(善通寺で見える情報)を国土交通省の光ファイバーのネットワークを使って共有を行いたい。

・ヘリポート情報の共有を

大型ヘリも離着陸可能なヘリポートの位置、使用の可否情報の共有を図りたい。

・通行可能な道路の情報共有を

一元的な通行可能な道路の情報共有をお願いしたい。



■ポストイトでの取りまとめ

1. 既存の専門部会での追加で検討したいは？

2. 新たな部会等の必要事項は？

3. この場に加わって欲しい機関は？

4. 連携したい機関、内容は？

の4項目について、ポストイトを用いて、意見を聞いた。